

熱機械分析装置 (TMA)

装置概要

TMAは試料に非振動的荷重(一定荷重)をかけながら[図1]、温度変化に伴う形状変化を測定する熱分析方法です。

荷重のかけ方(圧縮, 引っ張り, 曲げ)と、プローブの形状により3種類の測定モード[図2]があり各種物性測定に応用が可能です。

【測定項目】

線膨張率(収縮量), 線膨張係数
軟化温度, ガラス転移温度
フィルム伸長率

【測定対象物質】

高分子, セラミックス, 金属, 複合材料 等

【測定温度】

-150~1100℃



SII製 熱機械分析装置 TMA/SS6300

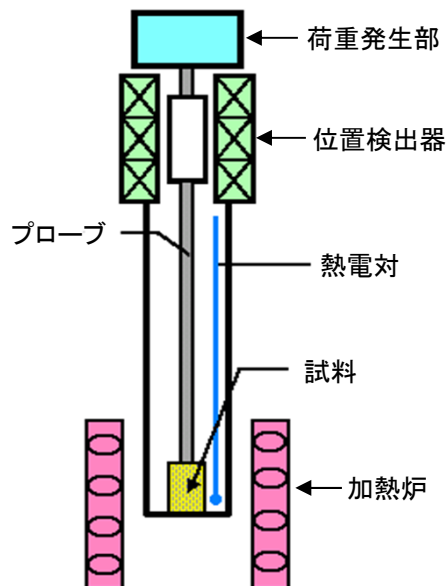
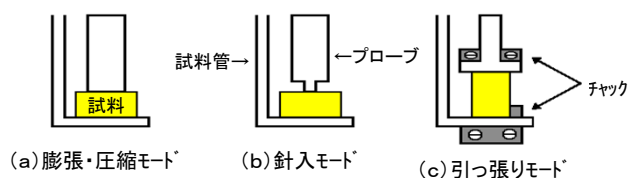


図1. TMA装置の概念図

図2. 各種TMA測定モード



純Alの熱膨張測定結果

